

(別添様式：記載留意事項)

本様式例を参考に記入してください(受講者に提示することも意図して、要領を作成した者でも可)

科目シラバス様式例

様式は例示であり、既存のフォームによって必要事項が記載されていれば様式は問わない(ただしA4であること)

講義・演習の展開の各項目について、別冊「ガイドライン」Ⅲ-3「領域達成目標、評価、展開」における該当番号をご記入ください

○領域名： _____ 科目名： _____

1. 到達目標 (行動目標)

※一日ないしは1科目ごとに作成する。時限の区切りにそって具体的な展開案を記載する。

到達目標 (行動目標)

別冊「ガイドライン」該当番号記入欄

ガイドラインの行動目標を踏まえ、さらにブレイクダウンしたり、付け加えたりしてもよい(2~3項目程度)
例) 豊かな人間観と、利用者への全人的、共感的、多面的な理解に立ち、利用者の尊厳が保持された状態の実現に向けた実践の改善にチームで取り組むことができる。

2. 修了時の評価ポイント (評価内容・基準と方法)

受講者の学習効果について、ガイドラインのどの評価ポイントに対応し、それをどのような評価方法で評価するか。ガイドラインの評価ポイントをさらにブレイクダウンしたり、付け加えたりしてもよい(2~3項目程度)。具体的な設問として提示してもよい。

3. 具体的な展開計画

当該科目の具体的な展開計画(概要)を記入してください。

①具体的な展開計画

②使用する教材

③事前課題のねらい・内容・方法、評価方法

4. 講義・演習の展開

下記の記載様式は一例であり、研修の特性にあわせて適宜工夫されてよい

講義・演習の展開の各項目について、別冊「ガイドライン」Ⅲ-3「領域達成目標、評価、展開」における該当番号をご記入ください

時間	テーマ（展開）・大項目	講義・解説のポイント・（中小項目）、演習等の展開内容	使用教材、指導上の留意点、備考等	別冊「ガイドライン」該当番号記入欄
<p>大まかなタイムスケジュールを書く</p>	<p>講義・演習のテーマ・流れを書く 例) 介護におけるコミュニケーションの理解</p>	<p>①講義・解説のポイントとして受講生に理解させるべきこと、②演習の場合はどのような演習を行うかを書く 例) 介護におけるコミュニケーションのポイントとして〇〇、〇〇、〇〇があることを説明する or 理解させる。</p>		

5. 事後課題、レポート等のねらい・内容・方法、評価方法